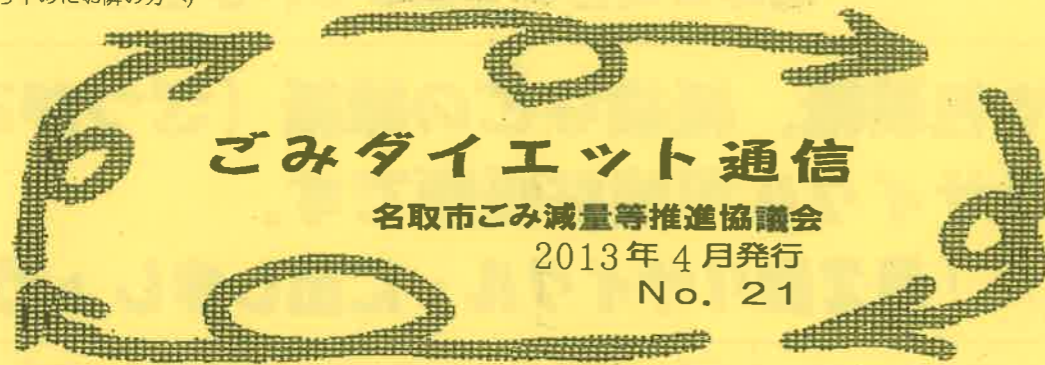


回															
覧															

(ご覧になったら早めにお隣の方へ)



ごみダイエット通信

名取市ごみ減量等推進協議会

2013年4月発行

No. 21

名取市のごみの現状を、皆さんご存知ですか？

名取市は、平成13年度からごみの徹底分別により再利用・再生利用の向上を図るとともに、排出源からのごみ減量に取り組み、低負荷かつ循環型の社会の構築により、徹底したごみ減量を図って参りました。

1人あたりのごみ収集量は、平成に入ってから約30%増加したものの、平成13年度からのリサイクル16分別により、分別初年度である平成13年度実績で資源化量は約5倍に増加し、ごみの収集量も5%減少しました。

名取市では、ごみ減量を代表する指標として市民1人1日あたりのごみ排出量を設定し、平成13年から10年間で約5%の減量を目指し取り組んできましたが、震災前の21年度実績で0.5%の減量に留まっており、震災の影響もあるものの23年度実績では逆に約1%増量している現状であります。

【目標値】

	1人1日あたり のごみ排出量
平成13年度	747g/日
平成24年度	710g/日

注：16分別のリサイクルを除く回収量です

【ごみとリサイクル搬入実績】

年度	10/1人口 (人)	一般ごみ (トン)	リサイクル (トン)	合計 (トン)	1人1日あたり ごみ排出量(グラム)
12年	67,057	23,637	971	24,608	963
リサイクル16分別収集開始！					
13年	67,566	18,410	4,969	23,379	747
21年	71,736	19,472	4,689	24,161	744
22年	73,033	17,079	3,616	20,695	764
23年	71,560	19,776	6,178	25,954	757

約0.5%の減量のみ
目標の1/10

逆に約1%増量

市民皆様の意識高揚と取り組みが必要です！

ごみは、私たちの日常生活から発生するもので、ごみの焼却処理や埋立処理を行うことから、大気環境を汚染するダイオキシン類を含む排ガスを排出したり、貴重な自然である山などの地形を崩す埋立地を作ったりと環境に大きく影響を与えるものです。

徹底したごみ減量とリサイクルに取り組めば、ごみ問題は環境を守るための活動として身近に取り組めるものです。市民一人一人の意識と取り組みが必要になります。

身近でできる暮らしの取り組み!!

スリーアールの推進

3R

Reduce

Reuse

Recycle

Reduce リデュース

ごみを減らそう

▶レジ袋をもらわない

▶マイバックを持参しましょう。

Reuse リユース

くり返し使おう

▶直したりして、繰り返し大切に使いましょう。

▶衣類などは捨てずに再利用しましょう。

Recycle リサイクル

リサイクルしよう

▶分別し資源化に協力しましょう。

生ごみを減らしてみませんか？



燃えるごみの中には、たくさんの生ごみが含まれています。まずは、生ごみを減らしていく工夫から始めてみませんか？

❁生ごみ減量その1 余分な食材は買わない！

安さに惹かれて、ついついたくさんの食材を買ってしまい食べきれずにやむなくごみに・・・という経験はありませんか？
ごみになってしまったら、食材も、お金ももったいない！
本当に必要なものかどうか、よく見極めてから購入しましょう。



❁生ごみ減量その2 しっかり水を切る！

生ごみのうちの約70%～80%は水分です。
重量を減らし、悪臭を抑えるためにもしっかりと水を切りましょう。

❁生ごみ減量その3 水に濡らさない！

果物や野菜の皮は、洗う前にむいて、むいた皮は食品トレーなどに入れて最初から水に濡らさないようにしましょう。
濡れてしまった場合は、ざるにいれたり、新聞紙の上に広げるなどして、風通しの良いところに置いて水分をとばしてから捨てましょう。



❁生ごみ減量その4 生ごみを堆肥として利用しよう！

庭に埋めたりして、落ち葉と土を混ぜ合わせることで自然に分解し、堆肥化ができます。(臭いが発生する可能性がありますので、周辺環境には十分注意してください。)

また、生ごみを堆肥化する専用の機器を使用する方法もあります。名取市では、家庭から排出される生ごみの減量化・リサイクルを推進するためコンポスト型、EMボカシ菌式、電気式生ごみ堆肥化容器などの購入費の一部を補助しています。

補助金額は、購入金額(消費税抜き)の2分の1で上限25,000円
生ごみ堆肥化容器購入補助金交付事業は、平成5年度から実施しておりますが、普及率は、平成23年度末までで全世帯の6.62%になっております。
(問い合わせは名取市クリーン対策課まで)

～ワンポイントアドバイス～

段ボールを使って簡単堆肥作り

材料：ダンボール、ビートモス(園芸用土)、もみ殻くん炭、米ぬか(あれば・・・堆肥カアップになります)

- ① 段ボールの中にビートモスとくん炭を混ぜ合わせます。
- ② 生ごみを入れます。(湿った生ごみはトレーや新聞紙の上で水を切る)

1日約500グラムのごみを2か月ぐらい入れ続け、2.3か月経つと分解しにくくなってきます。
こうなれば、生ごみの投入を終了し、1か月ほど寝かせれば、堆肥の完成です。





みんなでできるリサイクル活動



自治会や子供会の廃品回収活動に協力しましょう！

廃品回収活動の利点

- ・団体の収入源になる
- ・業者の利益にもなる



みんなに還元できる
経済効果あり

クリーンセンターに出してしまうと・・・

- ・衛生処理組合の収入になる
- ・処理費用がかかる（それは市民の税金！）

ワンポイント



- ・廃品回収業者によっては、自転車、ストーブ、トースターなど金属類も引き取ってくれるところもあるので問い合わせてみては？
- ・「1kg いくら」で引き取ってくれます
- ・木綿製品も燃えるゴミに出さないで、廃品回収へ！色々な製品に生まれ変わります ex. 車のシートクッションなど

収入UP ↑ ですね

ゴミ分別はきちんと行いましょう

分別で集められた資源はとても役に立っています

ワンポイント



ビン・缶・ペットボトルは洗浄して分別に出しましょう（汚れていると廃棄処分になってしまいます）



リサイクルショップの活用

- ・頂いたけど使わない
- ・買ったけど使わない
- ・欲しい物がある



ショップに売りに行ってみては？

リサイクルショップをのぞいてみて気に入ったら買って使いましょう

これらの活動がゴミ減量につながります

クリーンセンターでゴミを処分するということは、市民の税金を使うことです
ゴミが減れば使う税金も減らすことができます
税金を節約して、復興にまわしましょう！



菓子箱や包装紙、紙袋などを 焼却ゴミとして出していないか？

紙箱や包装紙、紙袋などの雑紙（ざつがみ） は、リサイクル可能な紙類です。

「月2回リサイクル」に出しましょう！

菓子箱やティッシュ箱、トイレットペーパーの紙芯、紙コップ、包装紙等は、リサイクルが可能な紙類です。分別しないでそのまま焼却ゴミとして出されているのが多く見られます。皆様の一人一人の意識と協力でゴミの減少化が図れます。



リサイクルマークが
ついているものもあります。
（目安にして下さい。）

- ① 折りたたむか、切り開いて入れる。
- ② 飲料が入っていた場合は軽く水洗いし、乾かして切り開く。

- ◆ティッシュの箱についているプラスチックの部分や、酒のバックについているプラスチックの注ぎ口は切り取ってプラスチック製品類へ。
- ◆きれいにできない紙箱・紙袋・包装紙類は焼却ゴミへ。



<編集後記>

毎日でもゴミも分ければ資源！
ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、ビニール、ビン類はきちんとリサイクルかごに入れましょう。
ゴミの分別16分別。きちんと分ければ焼却ごみはわずか。ゴミは資源です。

編集・発行：名取市ごみ減量等推進協議会
事務局：名取市生活経済部クリーン対策課
電話：384-2111（内線486,487）